

第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 寺井潔ソーシャルワーカー事務所

②施設・事業所情報

名称： 中海こども園	種別： 幼保連携型認定こども園
代表者氏名： 片桐 真二	定員（利用人数）： 85
所在地： 小松市軽海町ノ16-1	
TEL： 0761-46-6013	ホームページ： https://www.nakaumi-kodomoen.com/page1

【施設・事業所の概要】

開設年月日 平成30年4月1日				
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人大和善隣館				
職員数 (R4.4.1)	常勤職員：	15 名	非常勤職員：	14 名
専門職員 (同上)	(専門職の名称) 保育教諭	11 名	同左	6 名
	看護師	1 名	同左	1 名
	栄養士 調理師 各	1 名	同左	各 1 名
施設・設備 の概要 (同上)	(居室数) 保育室4 乳児室1 ほふく室1 子育て支援室1		(設備等) 遊戯室 ランチホール 調理室 保健室 職員室 図書室 相談室 園庭	

③理念・基本方針

理念 『善隣のこころ』 “いつでも どこでも そしてだれにでも われ等 善き隣人たらん”
方針 【三つのゼン】 生きる力の基礎を育む
★安全 身を守る安全意識を育てる。 子どもの思いを受け止めることで信頼感や自己肯定感を育む。
★自然 自然との出会いにより自然に親しみ、自然を大切にする心を育てる。 子どもたち自身の自然（個性）を大切にする。
★積善 人に対する信頼感や思いやりの気持ちを育む。 道徳性や規範意識を育む。

④施設・事業所の特徴的な取組

①自然とふれあう *驚きや発見、感動や喜びなど心動かされる経験をたくさん取り入れています。
②少人数 *園児一人一人の気持ちを受容・共感。自然な異年齢交流もしています。
③地域性・人のぬくもり *地域の方が自然散策、味噌づくりなどの先生として活躍。町内会との連携も密に。
④食育 *子どもたちが畑で世話した野菜を給食の食材に利用。毎月1回、給食を自分のお弁当箱に詰めて味わう。
⑤環境教育 *ゴミの減量化をしています *0.1.2歳児対象にマイバックを使用。生ごみリサイクラーの活用。
⑥未満児 (0.1.2歳児) の保育 *サブスクリプション (サブスク) の紙おむつを使用。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 4年 5月16日 (契約日) ~ 令和 5年 4月 7日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	初 回 (平成—年度)

⑥総評

◇特に評価の高い点

●園の自己評価は全職員で行い、同時に行った保護者アンケートとともに、課題や改善点を職員で共有及び検討している。また、改善策や改善計画は、職員会議で検討され、今年度は委員会の編成を変え、業務の効率化を図った。これらの取り組みは、中長期計画や事業計画に明示して、計画的に取り組まれている。

●組織としての期待する職員像は、法人マニュアルである「大和善隣館職員にのぞまれること」に示されている。目標管理の仕組みとして、「職員育成・評価シート」を活用し、今年度の目標（何を・どの程度・いつまでに）と今後の私のキャリアビジョン（長期の到達イメージ）を示している。そして、年3回の職員集団としての自己評価及び年2回の個人面談を実施し、進捗状況の確認を行い、目標達成度の確認を行っている。

●毎月19日（食育の日）は「から弁の日」となっており子どもたちはおにぎりを作ったり、給食のおかずを持参した弁当箱に自分で詰めて食べている。給食の主食は地元の蛸米を使用し、副食もできるだけ地元の食材を使用している。子どもたちが楽しんでいる様子や、地域の人との交流等はホームページ、便り、パンフレット等を通じて発信しており食事を楽しみながら食育を行っていることがうかがえる。

●行事等を行う時には、子どもからの意見も取り入れて、運動会や表現会等を開催している。子どもたちから自然に始まった「ごっこ遊び」は水族館ごっこ、昆虫館ごっこから始まり、今は迷路屋さんごっこがはやりで年長児を送る会の出し物にしようとしている。天気の良い日には積極的に園庭で遊んだり散歩に出かけたり、園外保育、菜園で野菜作り等、自然に触れる機会を多く持っている。田植え（米作り）、味噌づくり、干し柿づくり、梅干しづくり、山の散策等、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。

◇改善を求められる点

●必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画が確認できない。今後、事業計画などに示していくことが望まれる。

●苦情・相談に関するマニュアルは苦情中心となっている。保護者からの意見や要望、提案等への対応を含めたものにすることが望まれる。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回(令和4年度)初めて受審しました。各項目の自己評価を通して当園の事業を多方面から見つめ直す機会となりました。

評価結果は全体として良好であったと受け止めておりますが、今後も当園の置かれた環境を生かし、特色ある取り組みを推進して参ります。

また、改善の余地があるとされた項目が4項目あり、すでに着手した項目もありますが、職員一同で改善に取り組み、サービスの質の維持・向上に努めて参ります。

⑧評価細目の第三者評価結果（別添）